

エコな観光地

函嶺百合学園中学校 二年 柳田 華恋

箱根町は全国でも有名な観光地です。私は毎日登山電車を利用して通学し、今年で八年目になります。校庭から見える「大」の字が有名な明星ヶ岳は、春になると桜のピンク色、夏はアジサイの青色や紫色、秋になると紅葉して赤色や黄色、冬は真っ白く雪化粧します。四季折々全く違う顔を見せ、私たちを楽しませてくれます。私はそんな箱根の大自然が大好きです。コロナによるパンデミックが落ち着いて最近はいんばウンドにより外国人観光客が増えているように感じます。年間二千万人を超える観光客が訪れ、自然や温泉、美術館や伝統的なお祭りなどを楽しんでいるのです。日本の文化に触れたり、大自然を堪能したりするには都心からのアクセスも良く、本当に多くの人々で賑わっています。私の大好きな箱根にたくさんの方が喜んできてくださるのはいれしく思います。

しかし、良いことばかりではなく、問題もあります。私は箱根湯本駅前の国道一号線が渋滞している光景をよく見かけます。渋滞中ずっとエンジンがかかっていて排気ガス

が気になっています。二酸化炭素の排出量が増加、大気汚染につながります。またゴミが増えたり、ポイ捨てによる自然環境の破壊につながることも心配です。

私の学校では美化活動・自然愛護活動の一環として年に十六回、学校から強羅駅周辺の清掃活動をしています。道には落葉だけでなく、たばこの吸い殻やペットボトルなども捨てられていることがあり、思わず目を疑いたくなります。また学校全体で節電をして、脱炭素運動に取り組んでいます。節電は学年対抗で楽しく協力して行うため、ゲーム感覚で取り組んでいます。

ずっと自然を守り続けていくには、私たちができる身近なことから、コツコツと継続して活動することが箱根を、強いては地球を守ることに繋がっていくのです。

車の排気ガスや、ごみの焼却で二酸化炭素の量は増えます。今の自然を守るために私たちができることを考えてみました。

まず、車が渋滞する問題はもっと公共交通機関を使っ

でもらうことです。箱根はロマンスカーや箱根登山鉄道、ケーブルカー、ロープウェイや海賊船など、魅力的な乗り物がたくさんあります。車ではないほうが、美しい景色をゆっくり眺められたり、自然をもっと近くに感じたりすることができると思います。また、自宅から駅まで自家用車を使い、駅の駐車場に車を停めてから公共交通機関に乗り換える「パークアンドライド」を推奨することも必要です。渋滞解消、二酸化炭素量の減少、そして箱根を満喫、一石二鳥ならぬ、一石三鳥です。

またゴミの減量にはしっかりと分別をすることから始めたいと思います。リサイクルできるものは再利用すること、なるべく焼却・埋め立てるごみを可能な限り減らすことです。

今私たち中学二年生は「箱根町をプロデュースする」という課題に取り組んでいます。箱根の魅力や問題点について話し合い、実際に箱根を訪れる観光客にインタビューをして箱根をどのように思っているか、生の声に耳を傾け、より良い観光地として未来につなげていこうというものです。私は箱根を「エコな観光地」としていきたいと思います。そのために自分から積極的にできることに取り組みた

いと思います。例えば、外が明るい月夜の晩は電気を消して月明りを楽しんだり、エアコンをすぐにつけるのではなく、衣服で調節してみたりすること。車での移動を公共交通機関にしてみることに。こうした小さな努力をして、広めていくことが大切だと思いました。四季折々の自然を、未来の人々にも楽しんでもらえるように発信していきたいと思えます。